

いけんひろば
～みんなのアイデアでヘイトスピーチをなくそう！～
報告資料

令和6年8月23日（オンライン開催）

令和6年8月24日（対面開催）

2024年度こども若者★いけんぷらす

目次

1. 開催概要

2. 参加者の意見

- ヘイトスピーチが行われる背景について
- 法務省が現在行っている取組みについて
- 国・地方公共団体の今後の取組みについて

3. 参加者アンケート



1.開催概要

1. 開催概要

テーマ	みんなのアイデアでヘイトスピーチをなくそう！
担当省庁	法務省
参加対象者	ぷらすメンバーのうち、中学生～高校生世代
テーマ説明	<p>みなさまは、「ヘイトスピーチ」という言葉を聞いたことがありますか？</p> <p>特定の国や地域の出身者やその子孫であることのみを理由に、日本社会から追い出そうとしたり危害を加えようとするなどの一方的な内容の言動が、一般に「ヘイトスピーチ」と呼ばれています。</p> <p>街頭デモは少なくなっていますが、残念ながら、インターネット上ではこのようなヘイトスピーチは今も大きな問題になっています。</p> <p>ヘイトスピーチは、人々を不安な気持ちや嫌な気持ちにさせるだけでなく、人の心を傷つけたり、他の人たちに「人を差別してもいい」という意識を植えつけてしまうことになりかねません。</p> <p>違いを認め合い、不当な差別や偏見のない、すべての人たちが生き生きと暮らせる社会を作るためには、こうしたヘイトスピーチは許されません。</p> <p>法務省では、ヘイトスピーチのない社会を実現するため、こうした他人を差別するような言葉などは許されないということを多くの人に分かってもらえるよう、様々な活動に取り組んでいます。みなさまには、どのような取組を行えばより多くの人にヘイトスピーチが許されないものであることを伝えられるかなどについてご意見やアイデアをお聴きしたいと考え、テーマを設定しました。</p>

1. 開催概要

オンライン回

開催日時	令和6年8月23日（金）17:30～19:30
開催場所	Webex
参加人数・グループ数	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 1班・・・中学生2名、高校生2名 ➤ 2班・・・中学生2名、高校生1名

対面回

開催日時	令和6年8月24日（土）14:00～16:00
開催場所	こども家庭庁
参加人数・グループ数	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 1班・・・中学生2名、高校生2名 ➤ 2班・・・中学生1名、高校生2名 ➤ 3班・・・高校生3名

2.参加者の意見



ヘイトスピーチが行われる背景について

ヘイトスピーチはなぜ行われると思いますか。

文化の違いへの理解不足



- 国によって文化は全く違うので、外国人の振る舞いが日本人にとって合わないと感じることがあると思う。
- 「この国の人は怖い」という思い込みによって嫌だと思ってしまうのかもしれない。
- 言語が通じず、相手の気持ちや優しい面が分からないことで、ヘイトスピーチが続いてしまうのではないか。
- なんとなく怪しいと思ったり、ある一人の〇〇人が何か悪いことをしたせいで〇〇人全体が悪いとみなされることがある。
- 「〇〇人はこう行動する傾向がある」という考え方が広まると、もともとそうは考えていなかった人も、広まっている考えに影響を受けてしまう。一人ひとりに目を向けないと差別につながってしまうと思う。
- ある文化を持つ人が少ない環境だといじめの対象になりやすいのだと思う。学校で友達が多い人は孤立しないことと同じ。
- 自分と違う少数派がいると不安と感じられてしまうと思う。同じような人がいっぱいいる方が安心するということは自分もわかる。

- 日本は外国人に対する経済的支援があまり手厚くないと思う。外国人が日本人にやさしくなれるような仕組みをつくれれば、お互いを理解して支え合えるような関係性ができると思う。例えば、外国人が出身国の料理やファッションでイベントに出店など文化的な交流を行うのはありだと思う。
- 外国人が多い地域は、周りから隔離されている雰囲気がある。自分の地元にも外国人に対して偏見を持っている人はいた。一部の外国人が畑の作物を勝手に取ってしまったたり、日本人とは違う行動をとってしまったたりすることが原因なのかもしれない。外国人の悪い面ばかりに目を向けるのではなく、良い面にも目を向けるようにしないと、外国人に対する考え方は変わらないかなと思う。ヘイトスピーチの対象となるような人々は「こういうことを自分たちはやっているよ」と良い面を周りに共有することは大切だと思う。

歴史的な背景

- 人種差別の問題は、歴史的要因が大きいと思う。
- 特定の国に対する印象を、大切な人がその国から何かされた経験や、戦争が多いといったイメージだけで決めてしまっているのではないかと思う。



自分や組織を守るため

- 推測だが、ヘイトスピーチは特定の組織を批判するものが多い。ヘイトスピーチをする人は、自分が所属している組織を守るために、別の組織を攻撃してしまうのかなと思う。組織と組織の間には壁があり、攻撃しても自分の心に対するダメージは少ないと考えて攻撃してしまうと思う。
- ヘイトスピーチには自分の組織が傷つけられたことに対する報復的な意味があると思う。

ヘイトスピーチが行われる背景について

ヘイトスピーチはなぜ行われると思いますか。

ヘイトスピーチをしやすい環境がある



- 相手が個性を持つ人間だと思わず、塊や概念として捉えてしまっているからということが多いと思う。**SNSでは生身の人間が言葉を受け取ることが分かりづらい**のでヘイトスピーチが多く行われている。
- 相手との**物理的・心理的距離が遠いインターネット**は、攻撃がしやすくなってしまっていると思った。
- 生身の演説などより**情報発信のハードルが低い**ため発信されやすく、ヘイトスピーチを受ける人が拡大している。

- ヘイトスピーチ解消法はいじめ防止対策推進法と同じで、骨抜きで内容がなっていない。**ヘイトスピーチをした人に対する罰則がない。**



ヘイトスピーチをしている自覚がない

- ヘイトスピーチをする人は「**ヘイトスピーチをしている**」とは思ってなくて、「**意見**」として相手にぶつけてしまっていると思う。
- ヘイトスピーチを行う人は「**自分が考える正しさをなぜ理解してもらえないのか**」というように、**自分の行動や発言が正しいと信じている**と思う。客観的に自分たちのことを見れば、ヘイトスピーチをしなくなると思う。

ヘイトスピーチに関する教育の不足

- **ヘイトスピーチがいけないことだ**ということが広まっていないことが原因だと思う。学校でもヘイトスピーチに関するパンフレットなどは見たことがない。
- 地理の授業で、北方領土や竹島、尖閣諸島が他国に占領されているか、されかけていると学んだが、それが外国人に対する偏見を生んでいるのかなと思う。他国の政府が占領をしているからといって、その国の全員が悪いわけではない。**政府と国民は分けて考えよう、**ということを生徒にもっと伝えたほうがいいと思う。





法務省が現在行っている取組みについて

ヘイトスピーチが行われる背景を踏まえて、法務省が実施しているヘイトスピーチ解消に向けた啓発活動について
良いと思う点・もっとこうしたほうが良いと思う点を教えてください

活動全般に関して

- 啓発活動では「許さない」とあるように、あえて語気を強めていると思うが、第三者である自分から見たら「許されていない」という言い方は怖い。ヘイトスピーチも啓発活動も「自分には関係ない、関わりたくない」と感じてしまうと思う。
- こどもがヘイトスピーチをダメと言うことで、ヘイトスピーチを行っている人はヘイトスピーチをやめるのではないかと思った。
- 専門用語は使わないでほしい。ヘイトスピーチもある意味専門用語である。「差別」などわかりやすい言葉を使った方が良いと思う。
- 対象によって、わかりやすい資料や目に留まる場所が違うので、小学生、中学生、高校生、大人向けなどのように対象を分けて資料を作成し、学校や市役所などの人が集まる場所に置くと良い。
- 有名なキャラクターを文書に使うと目を引くと思う。
- 費用対効果を考えると難しいかもしれないが、地方での取組が不十分だと思う。

啓発マンガ「私たちの身近にあるヘイトスピーチ」について

内容



- ヘイトスピーチを理解していない人に向けて「ヘイトスピーチは良くない」という意識づけに特化する場合は良い資料だと思う。
- ヘイトスピーチの具体例が書いてあるから、ヘイトスピーチがどんなものか分かった。
- 歴史的背景について詳しく書いてあったら良い。歴史的背景の説明がないと、なぜヘイトスピーチが行われるようになったかが分からないと思う。

絵柄

- 表紙が怖い印象で手に取りづらい。
- 絵柄は若者がよくみるようなやわらかいテイストが良いと思う。



手に取りやすさ

- 文章でなく絵やキャラクターを使ってマンガ形式でまとめると、「見てみよう」という気持ちになる。若い人にも読みやすい。
- 字が難しく、小学生向きではない。
- いきなり説明もなく「人権擁護委員」という言葉が出てくるが、何のことがわかりづらい。ヘイトスピーチがなにか分からない人には無視されてしまいそう。

配る場所

- 学校でヘイトスピーチについて勉強した後に、このマンガを配布したら「授業で習った」ということで読むかもしれない。
- キャラクターやタレントとコラボしたり、ひねりのあるポスターにしたりするとバズる可能性がある。



法務省が現在行っている取組みについて

ヘイトスピーチが行われる背景を踏まえて、法務省が実施しているヘイトスピーチ解消に向けた啓発活動について
良いと思う点・もっとこうしたほうが良いと思う点を教えてください



ポスターについて

キャッチコピー

- 「そもそもヘイトスピーチとは何？」と思う人が多いと思う。ヘイトスピーチの説明もポスターに含めないと伝わりづらいと思う。
- ヘイトスピーチを行っている人に自分のことを客観視してもらうためには、「許さない」という言い方より、「許されない」という言いの方が良いと思う。
- ヘイトスピーチをしている人たちは、何らかの形で外国人から嫌な目に合わされたのだと思う。「憎しみは憎しみでは癒されない」というような言葉をポスターなどで書けば、「そうだな」と思いうヘイトスピーチをすることを思いとどまれるかもしれない。



- ヘイトスピーチがあることを前提にしているので、見た人がヘイトスピーチをしていると決めつけているように見える。
- 「ヘイトスピーチをしてはだめ」ということはヘイトスピーチをしている人も分かっていると思うので、より具体的にヘイトスピーチをされたことによる体験を記載したほうが良いと思う。
- ポスターは見た人に問いかけるような、気づかせてくれるような工夫をすると「自分もヘイトスピーチをしているかも」と見た人に感じさせられて良いと思う。
- 裏をかいて、「日本人出ていけ！」と書くと目にとまると思う。「自分たちがやられたらどう思う？」と問いかけると良い。
- 「ヘイトスピーチってなに？」というキャッチコピーにして、詳しくは二次元バーコードを読み込んでもらうのがいい。



貼る場所

- 自治体などにポスターを掲示してもらわないと普及しない。
- 鉄道会社と協力して電車内にポスターを貼れば、暇な時に車内を見る人の目にとまって良いかもしれない。
- ポスターを貼りすぎると見慣れてしまいあまり目を向けられなくなるような気がする。
- 利用者の年齢層が幅広い図書館に設置するのが良い。
- 図書館にヘイトスピーチに関するポスターが貼ってあったら少し怖いと思う。図書館の落ち着いた環境を求めているのに、平和な生活が少し脅かされているような気持ちになる。

デザイン

- ポスターは、一目見て「はっ」となる直感的に伝わりやすいデザインだと思った。
- 広報物に人物をもっと登場させた方が良い気がする。
- 広告がワンパターンなので、ヘイトスピーチという言葉を変えたり、見せ方にバリエーションを持たせたりした方が効果的。

その他

- ポスターのアイデアを募集したら面白いかもしれない。



法務省が現在行っている取組みについて

ヘイトスピーチが行われる背景を踏まえて、法務省が実施しているヘイトスピーチ解消に向けた啓発活動について
良いと思う点・もっとこうしたほうが良いと思う点を教えてください

インターネット上での啓発活動（インターネット広告）



周知方法

- インターネットは自分が興味のあるコンテンツや広告などしか出てこない仕組みになっているのでインターネットで広告などを載せても、**もともと興味を持っていないと出てこない**と思う。
- 多くの人に広めるには最適な方法**だと思う。ただ、こども世代に広めるには、サッカースタジアムなどを活用すると良いかもしれない。学校でヘイトスピーチに関するチラシを配布することも良い。
- 高齢者はSNSを見ないので、SNS上では特に**若者に訴えかけるのが重要**だと思う。
- 実際のヘイトスピーチ**の状況が伝わる**画像や映像が流れてきたら見る**かもしれない。

デザイン

- 黄と黒は注意喚起の色**として使われることが多いから、注意を引きやすいデザインになっていると思う。
- 軽めの動画やマンガで**具体例があると良い**。

内容

- 「ヘイトスピーチ」という言葉が前面に出すぎているように感じる。「生まれつき変えられないことに対して言及し、人を傷つけることはだめ」など、「**どういう人に対してどういうことをするのがだめ**」という**具体的な表現の方が解消につながる**と思う。
- 「**あなた**」という**文字があると自分のことかもしれない**と思って、**気になる**かもしれない。
- 駅でこのポスター（右下画像）を見たことがあり、とても記憶に残っている。外国のこどもたちが泣いている画像にするとより**自分ごととして捉えられる**と思う。**自分が「ヘイトスピーチ、許さない」と言われている側の気持ちになるような文言**もあると**良い**と思う。



インターネット上での啓発活動（啓発動画）

- 啓発動画に難しい言葉が多く使われているので、**対象を分けて動画**を作成したほうが良いかもしれない。例えば、高齢者向けには動画の速度を遅くする、若い人向けにはおしゃれにするなど。
- アニメーション形式の動画**にすれば印象に残る気がする。



国・地方公共団体の今後の取組について

ヘイトスピーチが行われる背景を踏まえて、ヘイトスピーチを解消するために、今後、国・地方公共団体は、それぞれどのような取組を行っていくことが必要だと思いますか

周知活動

学校教育の充実

- 学校に法務省の担当者に来てもらい、話してもらうのがいいのではないか。
- 学校の授業で、歴史だけでなく、今の各国の状況を扱うのが良いと思う。今のことも学べたら考えが変わるのではないか。
- 教育が大事だと思う。生徒は聞くだけでなく意見を出しあいアウトプットすることが大切だと思う。



啓発イベントの開催

- 原爆体験の語りのようにヘイトスピーチでも体験者の語りなどを行うと良いと思う。
- ヘイトスピーチについて気軽に学習や体験ができるイベントを定期的に開催する。
- 社会の教科書で南アフリカ共和国にアパルトヘイト博物館があると知った。入場後、ランダムに黒人と白人の扱われ方に分かれるという疑似体験ができるそうだ。そうした体験は効果があると思う。
- 国がパンフレットや講演会で正しい知識を伝えるようにする方が良い。信頼できる国の機関が誤った情報に対する警告や正しい知識をつけられるようにするのが良いと思う。
- ヘイトスピーチ防止に向けた標語コンテストを開催して、ヘイトスピーチについて考える機会を設けると良いと思う。

インターネットの活用

- 人を対面で集める講演会は参加人数が限られてしまう。SNSを使えば多くの人が見られて良い。
- ヘイトスピーチをしている人から理解を得ることが必要だと思う。ヘイトスピーチの原因になっている内容ごとに解決策をインターネットに掲載していくと良いと思う。
- インターネットのプラットフォーム提供企業も正しい情報を伝えていく取り組みをしていく必要があると思う。



著名人の起用

- 有名人の中でも日本人以外の血が混じっている人のように、デモの標的になりやすい人がヘイトスピーチについて発信すると、日本人が発信するより影響力があるのではないかと思う。
- ポケモンのような人気キャラクターとコラボしたり、YouTuberを起用したりすることで発信力を高め、興味を持ってもらうようにしたら良いかもしれない。

その他

- 外国人を対象としたヘイトスピーチも含めて周知しているのであれば、全て日本語で書かれていることに違和感がある。外国語で併記すると、ヘイトスピーチを受けている人にも「解消しようとしてくれているんだ」と思ってもらえるようになると思う。



国・地方公共団体の今後の取組について

ヘイトスピーチが行われる背景を踏まえて、ヘイトスピーチを解消するために、今後、国・地方公共団体は、それぞれどのような取組を行っていくことが必要だと思いますか

異文化交流の活性化

- 日本でヘイトスピーチの対象になっている人と日本人の交流が出来たら良い。相手を個性のある人だと認識できていない場合、**会ったり趣味を知ったり**することによって、ヘイトスピーチが減ると思う。
- 被害にあっている人たちと交流するような形で市民を巻き込むことが良いと思う。ヘイトスピーチを行っている団体がいる限りはすぐにヘイトスピーチはなくなるので、**「被害者の人たちがなぜヘイトを受けないといけないんだろう」と市民に考えさせる動き**があると良い。
- **外国人と関わる機会を増やして話していけば**、ヘイトスピーチを減らせるのではないか。
- お互いの**文化や歴史的な背景をよく知る**こと。
- 国民全員で話し合うのは難しいので、北方領土問題の話し合いのように、**互いの代表者が話し合い、その内容を国民に周知**する。
- 日本に来る外国人に**簡単な日本語を覚えてもらう**と良いと思う。日本人全員が外国の言語を覚えることは難しいし、少数が大勢に合わせるの方が楽だと思う。

罰則・取締りなどの強化

- いじめ防止対策推進法やヘイトスピーチ防止法は「やめましょう」としか言っておらず罰則規定がない。**罰則規定を設ける**必要がある。
- オープンソースで**暴言検知AI**というのが存在した。広辞苑をもとに学習させると、暴言を検知したときに「暴言です」と知らせしてくれる。ヘイトスピーチのような暴言は無意識に出るので、本人に対して暴言を話しているということを気づかせることが大事だと思う。
- **法務省がヘイトスピーチを行っている団体にもっと話を聞く**と良いと思う。ヘイトスピーチを行っている団体は、このような倫理的な問題があっても訴えなくちゃいけないという使命感があると思うので、法務省がヘイトスピーチを行っている団体の話を聞くことで、市民に過激な方法で伝えることはなくなると思っている。
- ヘイトスピーチをするほどの人は何らかのトラブルを抱えて恨みを持っていると思われる。ヘイトスピーチを受ける側だけでなく、**ヘイトスピーチをしてしまう側にもトラブルを解決するための相談窓口などのサポート**があると良いなと思う。

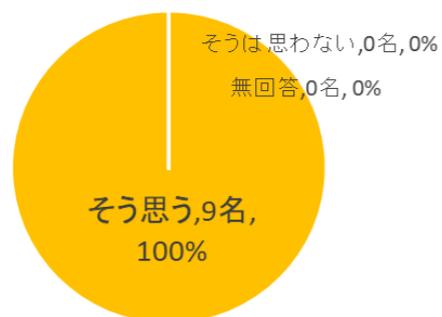


3. 参加者アンケート

3. 参加者アンケート（対面）

※一部を抜粋して掲載

「いけんひろば」に参加してよかったですか？



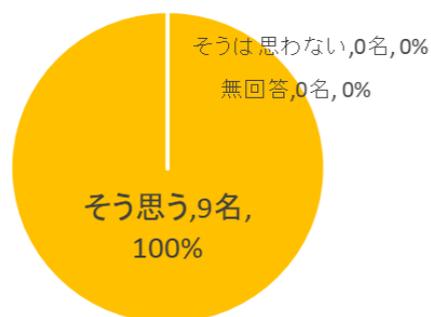
「そう思う」の理由(自由回答)

難しいテーマの中でそれぞれの意見が聞けて、自分がこれからどう世間と関わっていけばいいのか考えることができたから。

ヘイトスピーチについて詳しく知れたことが1番よかった！！

自分とは育った環境の違う人の意見を聞いて勉強になったから。

今日の「いけんひろば」では、自分が話したいと思ったことを言えましたか？



話したいと思ったことを言うのがむずかしかった理由や、言い足りなかったこと(自由回答)

とてもしっかりと自分の言いたいことをいえました。

そのほか、今日の「いけんひろば」についての感想を教えてください。

今日、このいけんひろばに来て良かったと思いました。様々な意見を聞くことができるのも良い点だと思います。

リラックスして話せたし、勉強になりました。ありがとうございました。

普段考えない内容を話すことはいい経験になるし知識も増えて楽しかったです！！

3. 参加者アンケート（オンライン）

※一部を抜粋して掲載

「いけんひろば」に参加してよかったですか？



「そう思う」の理由(自由回答)

沢山の視点からの意見を理解することができて、とてもいい話し合いだったなと思った。日本で起きていることを把握する、という点でもいい機会だったなと感じました。

すごく勉強になったから

自分の意見が政治に生かされるなんてとても貴重な機会だし、他の人の意見もオリジナルで参考になりました！

今日の「いけんひろば」では、自分が話したいと思ったことを言えましたか？



話したいと思ったことを言うのがむずかしかった理由や、言い足りなかったこと(自由回答)

特にありません。

そのほか、今日の「いけんひろば」についての感想を教えてください。

いけん"ひろば"という言葉がぴったりの話しやすい環境でした！

また参加したいと思えるような交流会だったので、また参加したいです。

初めての話し合いで、少し緊張していたが、話していると徐々に緊張がなくなり、題材に集中できた。